

令和6年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問題目	質問項目
つくし野	横尾 秋洋	1 本市を取り巻く社会情勢について	(1) 今後の将来推計人口が公表された。市長の目指す「住みたいまち日本一」への具体的な方針と具体策は。
		2 政策①「人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり」について	(1) こども大綱に定める「こども計画」の策定方針は。意見表明の環境整備と機運醸成等の課題にどう取り組むか。 (2) 新たに認可保育所が設立されることで、待機児童及び隠れ待機児童を解消できるのか。今後の課題は。 (3) 保育士不足は解消されたのか。新年度から配置基準が見直されるが、対応できるのか。処遇改善の取組は (4) 市内の病児保育、こども誰でも通園制度及び保育所の一時預かりに関し、定員及び施設等を拡充するべきでは。 (5) 今後、放課後児童クラブで待機児童は発生しない見込みなのか。新たな受け皿整備や業務のICT化の推進は。 (6) 医療費の自己負担軽減を18歳まで拡大できないのか。また、各自自治体のように独自支援策を検討するべきでは。 (7) こどもの居場所で、児童館の機能と中高校生世代への利用対象を拡充する「こども館」等を整備するべきでは。 (8) こども食堂の事業継続支援は具体的にどのような支援なのか。小学校単位での運営支援を行うべきでは。 (9) 大規模校・過大規模校により生じる課題と今後の方針は。増築及び移転新築、通学区域の変更等の考えは。 (10) 小学校の増改築工事時における教室は十分に確保されるのか。ICT教育の充実に向けて課題と今後の方針は。 (11) 教員不足は解消できるのか。県政12年間の経験を有する市長としての取り組みは。 (12) フリースクールとの連携は。国が設置促進する学びの多様化学校に期待するものは。登校支援員など拡充は。 (13) 地域学校協働活動推進員の今後の活動内容と増員についての考えは。
		3 政策②「市民が織りなすスポーツと文化のまちづくり」について	(1) アンケート調査やスポーツ推進計画の策定により、体育館・プール・グラウンド等の整備方針を決めるのか。 (2) アビスパ福岡と締結したフレンドリータウン協定に伴い、具体的にどのような取組を行っていくのか。 (3) 令和5年度に表明された、古代日本の「西の都」構成文化財における活用の取組は。 (4) 学校図書館蔵書数の増への対応は。学校図書コーディネーター配置による効果と学校図書司書の役割分担は。 (5) 自治公民館の新築、増改築等の補助予算を増額すべきでは。駐車場確保のために支援を行うべきではないか。
		4 政策③「自然をまもり未来を育むまちづくり」について	(1) 第三次環境基本計画の時代の潮流に沿った見直しとはどのような内容か。ゼロカーボンシティの表明は。 (2) 市の広大な森林面積を活かしたカーボンクレジット制度を創設してはどうか。 (3) 公共施設や道路、公園等の照明LED化及び、行政区・自治会等の防犯灯LED化に関する具体的な計画は。 (4) 老朽管更新や管路の耐震化に関し、震度6強の場合、送水に問題はないのか。取組を加速すべきでは。

令和6年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問題目	質問項目
		5 政策④「強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり」について	<p>(1) 「地域経済活性化施策の充実・強化を求める意見書」が提出されたが、本予算にどのように反映されているか。</p> <p>(2) 企業立地のため用地整備を推進するとあるが、今後の具体的な取組は。また、新たな部署を設けるべきでは。</p> <p>(3) 地産地消の推進に関し、市役所ふれあい広場の地産地消マルシェ以外に考えている具体的な取組は。</p> <p>(4) 観光協会を含めた観光関連部署の人員は不足していると感じるが、見解は。外国人観光客の誘客する施策は。</p> <p>(5) 有害鳥獣対策で新規の対策はできないか。被害調査は実態調査による全件調査をすべきと考えるが見解は。</p> <p>(6) 森林環境譲与税の活用で竹林にも着目すべきでは。森林環境税の課税により、目に見える形での事業の実施は。</p> <p>(7) 食料・農業・農村基本法が25年ぶりに改正される見通しであるが、市として期待するのは何か。</p> <p>(8) 耕作放棄地減少と担い手への集積率の目標達成に向けた取り組み成果は。中間管理機構の導入の実績と評価は。</p> <p>(9) 就農支援として、半農半X・多業農家などの農業者へ支援を行えないか。</p> <p>(10) 農業振興地域整備計画の改定に向けた検討は、どのような方針と方法で行うのか。</p>
		6 政策⑤「支えあい、暮らしに寄り添う福祉のまちづくり」について	<p>(1) 地域包括ケアシステムの進捗状況と課題は。生活支援コーディネーターの配置方法と活動方針、具体的目標は。</p> <p>(2) 生活支援体制づくり支援のためインセンティブを創設しては。</p> <p>(3) 介護現場に関し、職員の負担軽減として、ロボットやICT及び補助員としてシニア層の活用は考えられないか。</p> <p>(4) 元気な高齢者が増えている。高齢者が地域でもっと活躍できる活動の場づくりを考えてはどうか。</p> <p>(5) コロナ・インフル・帯状疱疹等のウイルスには、ワクチンの予防接種が有効と考えるが、助成をするべきでは。</p> <p>(6) 若者など健診へ無関心な層への取組みをどのように行うのか。医療機関、スポーツ施設との連携は。</p> <p>(7) かかりつけ医を持つ取組みを進めてきたがこれまでの成果と課題は。また、現在の薬不足は解消されるのか。</p> <p>(8) 核家族化やライフスタイルの変化に伴う課題が顕在化しつつとあるが、具体的にどのような課題があるのか。</p> <p>(9) 合理的配慮の義務化の啓発はどのような方策で行われるのか。相談窓口の準備はできているのか。</p> <p>(10) 高齢者、こども、障がい者、生活困窮者等の相談窓口を増やすべきでは。</p>

令和6年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問項目	質問項目
		7 政策⑥「安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり」について	(1) 能登半島地震では、想定を超えた地震が起きた。市地域防災計画の見直しと全体訓練を実施しては。
			(2) 大規模地震が発生した場合、建物倒壊被害を想定した具体的な対策は。避難者想定約4千人の受け入れ先は。
			(3) 市内の空き家が高齢化により年々増加傾向であるが、今後の対策は。
			(4) 令和5年度の特種詐欺の被害が約5億7千万円で一昨年度に比べ4千9百万円増加している。今後の対策は。
			(5) 防犯カメラは、犯罪を未然に防止・抑止することを目的としている。防犯カメラの設置台数の増設の考えは。
			(6) 「再犯防止推進計画」の策定は、具体的にどのように進めているのか。
			(7) 第二次都市計画マスタープランの見直しは、どのような方針なのか。企業誘致について具体的な計画は。
			(8) J T跡地に関し、調査研究の結果と具体的な活用方法は。将来を見越した維持管理など財政状況の見直しは。
			(9) 「国道3号線バイパストンネルの安全対策に関する要望」について、今年度と来年度の具体的な取り組みは。
			(10) バスやタクシー運転手が不足する中、MaaS導入による自動運転バスやライドシェアの導入等の検討は。
		8 政策⑦「政策実現のための市民目線の行財政運営」について	(1) ふるさと納税促進のため専任担当者の配置は。返礼品の発掘及び地場産業の開拓の取組を進めるべきでは。
			(2) 遊休資産(旧庁舎・旧ジャスコ跡地など)の活用は。災害時に考慮したふれあい広場の緑化や活用は。
			(3) DXの推進に関し、明確な目標や取組内容を掲げた具体的な計画の策定が必要では。
			(4) 市職員の雇用を増やすべきでは。就職氷河期世代や非正規から正規への雇用を促進するべきでは。
			(5) 地域コミュニティの役割分担等や、あるべき姿は行政主導で方向性を示し、それをベースに検討すべきでは。
			(6) まちづくりへの提案、まちづくり座談会のこれまでの開催状況と市政へ反映された実績と手応えは。
		9 「令和6年度の予算編成」について	(1) 住み続けたい・住みたいまち日本一にするために、施策実現の優先順位を3つとしたら何か。また予算配分は。
市民会議	上村 和男	1 はじめに	(1) 市民の暮らしを危うくする内外情勢があるが、それをどうとらえているか。
			(2) SDGsの推進は、国、自治体を問わず取り組む必要があるが、その見解は。
		2 【人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり】	(1) こども部が新たに設置されるが市長の思いは何か。
			(2) 子育て支援について、様々な課題があるが、こども家庭センターの役割をどう考えているか。
			(3) 教員不足の改善を求める意見書を議会は県に提出したが、教職員の働き方改革をどう進めていくか。
			(4) インクルーシブ教育、人権同和教育について、どのように考えて推進しているか。

令和6年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問項目	質問項目
		3 【市民が織りなすスポーツと文化のまちづくり】	(1) 第七次総合計画に基づいてどのように進めていくのか。 (2) 阿志岐山城跡・前畑遺跡・基肆城を繋げた保存等の考え方とまちづくりにどのように活かすのか。 (3) 国際大会を開催できる体育館を新たに建設する考えがあるのか。
		4 【自然をまもり未来を育むまちづくり】	(1) 産業廃棄物処理場問題の抜本的解決を求める福岡県促進期成会の解散についての市長の考えは。 (2) 循環型、脱炭素社会の形成は具体的にどのように進められるのか。 (3) 竜岩自然の家に環境教育施設を設置してはどうか。
		5 【強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり】	(1) 昨年3月議会で議決した、地域経済活性化に関する要望書をどのように受け止め、実行されるつもりか。 (2) J T跡地についてどのように検討されてきたのか。 (3) 市庁舎跡地・ジャスコ跡地について、どのように活用するのか。 (4) 地元農産物の小中学校や保育所の給食への活用による地産地消の推進は考えているのか。 (5) 森林環境譲与税の新たな活用についての考えは。 (6) 商工業の振興による土地利用や宅地の拡大と、将来に向けての農地利用・確保とのバランスはどう考えるか。
		6 【支え合い、暮らしに寄り添う福祉のまちづくり】	(1) 高齢者介護における人材確保をどのように考えているのか。 (2) 地域包括ケアシステムの構築が迫っているがどのように推進していくのか。 (3) 障がい者福祉の充実は、計画に基づき、どのような考えで推進していくのか。 (4) 地域共生社会の構築は、地域コミュニティの役割が重要であるが、どう支援していくのか。 (5) 同和問題の解決に向けて、どのように進めていくのか。
		7 【安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり】	(1) 防災について、令和6年能登半島地震から何を学んだのか。 (2) 筑紫公園の整備について、防犯上の問題が懸念されるがどう考えているのか。 (3) 新たに策定される地域公共交通計画に基づく交通網の整備は、どのように進めるのか。
		8 【政策実現のための市民目線の行財政運営】	(1) 本市の財政状況をどのように評価しているのか。 (2) まちづくりへの提案、まちづくり座談会は、市民協働の市政運営に役立つと考えるが、どう充実させていくか。 (3) 職員の人材育成はもっと充実させ、推進すべきではないか。
		9 【令和6年度の予算編成について】	(1) 令和6年度予算は、どのような市長の思いをベースに編成されたのか。

令和6年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問題目	質問項目
公明党 筑紫野市議団	坂口 勝彦	1 人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくりについて	(1) 自治体こども計画策定に向け、国の支援メニューが準備されているが、今後どのように進めていくのか。
			(2) こども誰でも通園制度の本格実施に向け、今後どのような準備や検討が必要となるのか。
			(3) 届出保育施設に対する補助制度が新設されるが、どのような制度となるのか。
			(4) 国は「1カ月児」「5歳児」健康診査費用を2分の1助成としたが、市の見解は。
			(5) こども家庭センター設置で、サービスの拡充、相談支援機能一体化となり、どのような支援が出来るのか。
			(6) 指導者用デジタル教科書導入で、教員・児童生徒への効果と、今後の導入科目の見通しは。
		2 市民が織りなすスポーツと文化のまちづくりについて	(1) 文化会館を中心として、文化芸術活動の振興に努めるとあるが、バリアフリーの観点から、整備が必要では。
			(2) 本庁舎における展示物スペースの今後の活用はどのように進めていくのか。
			(3) 中学校部活動の地域移行を進めることにより期待できる効果はどのように考えているのか。
		3 自然をまもり未来を育むまちづくりについて	(1) 災害廃棄物の処理は、今後どのように対策を講じるのか。
			(2) 地域猫など動物愛護活動への支援の継続とあるが、強化はされないのか。
			(3) 産業廃棄物に係る諸問題について市の役割をどのように考えているのか。
		4 強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくりについて	(1) 商工業や観光振興のさらなる発展のため、新たに商工観光振興計画を策定してはどうか。
			(2) 近隣自治体と連携した観光振興策は具体的にどのように進めていくのか。
			(3) 農業経営を持続できる環境整備や次世代人材育成のため、支援対象者の相談体制の充実が必要では。
			(4) 国の農福連携推進ビジョンの内容を、市はどのように受け止めているのか見解を伺う。
			(5) 有害鳥獣対策にも努めていくとあるが、捕獲や、被害の現状に、どのように対策を進めるのか。
			(6) 地産地消マルシェの充実を図るため各コミュニティセンター等に広げて開催してはどうか。
		5 支えあい、暮らしに寄り添う福祉のまちづくりについて	(1) 介護、福祉の需要の増大が見込まれるが、人材確保や受け皿の整備をどのように進めていくのか。
			(2) 健康づくりの推進として国・県の助成事業を積極的に活用してはどうか。
(3) 障害者差別解消法に基づく合理的配慮が、民間事業者で義務化される事で、期待される効果は。			
(4) 地域共生社会の実現に必須である、地域包括ケアシステムを今後どのように進めていくのか。			

令和6年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問項目	質問項目
		6 安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくりについて	(1) 警固断層上に位置する本市は、大規模災害を想定し、今後どのような備えに努める必要があるのか。 (2) 市営鷺田川流域で浸水被害に遭われた方々からは、早急な対策を望む声があるが、今後の見通しは (3) 罹災証明書発行を迅速化するため、罹災証明書交付の被災者支援業務DX化の考えを伺う。 (4) 市有財産である旧庁舎、ジャスコ跡地の土地利用計画を早急に進めるべきではないか。 (5) 地域特性や公園種別に合わせた整備の中で、健康づくりや防災機能を備えた公園再生への見解を伺う。 (6) 交通環境で、道路の安全性を確保するため、適切な維持管理をどのように進めていくのか。 (7) 地域公共交通計画策定に基づく持続可能な交通網の維持、形成に向けた今後の見通しは。
		7 政策実現のための市民目線の行財政運営について	(1) 自主財源確保のため、ふるさと納税促進に向け、専任職員の配置、企業誘致を積極的に取り組むべきでは。 (2) 行政手続きのデジタル化に向けて、現状の課題と今後の見通しをどのように考えているか。 (3) 市営住宅の修繕、改修を進めていくとあるが、老朽化した市営住宅の建て替え等の考えは。 (4) 重層的支援体制の整備には、身近なコミュニティセンターに社会福祉士等専門職の配置が必要では。 (5) 地域コミュニティ推進条例の補完性の原理にある共助による解決に向けた支援は十分であるのか。